

## 社 報

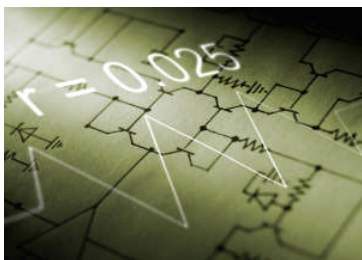


## 技能は評価されないのか……

## 新しい工法を

技能は評価されないと、本文に書きましたが、技能が評価される為には、技能の値打ちを上げる必要があります。技能の価値を上げるには、技能を持つ人が少なくならねばなりません。

技能者を減らす為には、技能のいらぬ工法を考えることです。なんだか変な話かもしれませんが、今後の変化を考えた時には、そうなるような気がします。



不景気で型枠の工事価格が下り続けていて、今や低価格どころか、ボロボロの状態です。

いくら仕事が少ないと言っても、そこまで価格を下げなくても……、どこか、「なんぼなんでもそんな価格はないやろう!」という単価を出す、型枠会社がいくらでもあるようです。

他人を押しつけても、低価格で攻勢をかけて仕事を取れば、なんとかなると思っているのでしょうか。職人さんの生活の基盤は失われ、このままでは建設業として型枠工事は成り立たないところまで来ています。

このような状況の中では、いかに個人が優れた技能を持っていても、評価されることはありません。ここ数十年の建設業界を振り返ると、建設業は職人が基盤と叫びながら、職人の処遇を平気で切り下げ・切り捨てています。

国家建設の誇り・モノづくりの喜び・磨き抜かれた卓越した技能、など聞こえの良い言葉を並べても、建設業の実体は、もはや肉食動物の世界と同じで、食うか・食われるかの暴力的な雰囲気が漂っています。

おそらくは、建設業においては今後も個人の技能を評価しようという気運が生まれてこないような気がしています。

元請業界・下請業界を含めて、そうした雰囲気には危機感を抱いている人は大勢います。みんな、仕事をしながら、「どっかおかしい……」と思っているのですが、その流れを変えることは出来ないでしょう。

なぜなら、それは建設業界だけの話ではないと思うからです。駅前商店街に人が行かなくなり、大型のスーパーなどでしかモノが売れない時代です。昔なら市場の商店で店主が目利きした商品を買うことで、良い商品が買えたのですが、今の時代は、良い商品を安くではなく、そこそこの商品を安く買えたらという流れがあると感じます。

型枠工事で良い職人を確保しようとしたら、元請企業はそれに見合った努力をしなければなりません。それよりも、メーカーが売り出した、そこそこの商品ならいつでも気軽に買うことができるのです。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## 整理整頓は安全の基本

安全の基本は整理整頓にありと、昔から言われ続けた言葉です。しかし、これが難しく誰もが完全にできることはありません。整理整頓は整理と整頓の2つの言葉から成り立っています。整理とは、必要であるか、不要であるかの区別をすることです。整頓とは、必要なモノを簡単に判別・区分できるように並べた

り・保管する場所を決めたりすることです。どちらが難しいかと言うと、それは整理でしょう。不要なモノも最初は必要であったでしょうし、必要なモノもいつかは不要になるのです。ある日突然に、必要なモノが不用にはなりません。なんだか知らないうちに不要なモノがあふれてきます。

## 2010年 安全成績

■ 現場災害 H22.1.1-H22.5.11	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■ 交通災害 H22.1.1-H22.5.11	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 2
合計	----- 2